

製品名: RON (15C9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17319**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,IF-P 1:200-1:500
分子量	152kDa

抗原情報

遺伝子名	MST1R c met related tyrosine kinase; CD136 antigen; Macrophage stimulating 1 receptor; MSP
別名	receptor; p185 RON; PTK 8 Stem cell derived tyrosine kinase; MST1R variant RON30; MST1R variant RON62;
遺伝子 ID	4486.0
SwissProt ID	Q04912
免疫原	ヒト RON の組み換えタンパク質

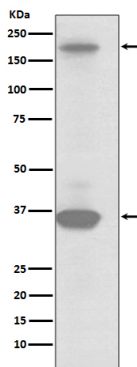
背景

Ron は、最初、細胞内で単鎖の pro-Ron 前駆体として合成され、これが 2 つの活性鎖に切断されます。RON シグナル伝達は、創傷部位での上皮細胞の移動、増殖、および生存を促進することにより、創傷治癒反応を活性化します。また、マクロファージの移動および貪食活性を調節することにより、自然免疫反応において役割を果たします。MST1 リガンドに結合して細胞外マトリックスから細胞質にシグナルを伝達する受容体チロシンキナーゼです。細胞の生存、移動、分化など、多くの生理学的プロセスを調節します。細胞表面でのリガンド結合により、RON の細胞内ドメインの自己リン酸化が誘導され、下流のシグナル伝達分子のドッキング サイトが提供されます。リガンドによる活性化に続いて、PI3 キナーゼ サブユニット PIK3R1、PLCG1、またはアダプター GAB1 と相互作用します。RON によるこれらの下流エフェクターのリクルートは、RAS-ERK、PI3 キナーゼ-AKT、PLC γ -PKC など、複数のシグナル伝達カスケードの活性化につながります。RON シグナル伝達は、創傷部位における上皮細胞の移動、増殖、および生存を促進することで、創傷治癒反応を活性化します。また、マクロファージの移動および貪食活性を調節することで、自然免疫応答にも関与しています。さらに、RON は MST1 リガンド以外の成長因子に対する反応として、細胞の移動や増殖などのシグナルを促進することもあります。

研究分野

細胞生物学

画像データ



SKBR3 細胞溶解物における RON 発現のウェスタン ブロット分析。